

③ 研究主題

「農山村における学力向上をはかるための国語の学習をどのようにしたらよいか」（読みを深める指導）

(2) 研究内容

読む能力をつけるために、夕方の十分間の朗読の実施、月、土の朝の朗読会等により内容を読みとろうとする態度ができ、父兄も教育に関心をもちその重要性を認識した。朗読から延長して学校や学級の図書を活用、ドリル学習、読学テストと各方面からその目的に向かって進めている。読みを深めるために、どの学年でどのような目標に重点をおいて指導するか、その学年目標を設定し指導内容をおさえつまづきのある問題点をふまえて指導できるよう指導の対策がたてられ効率的な学習指導が展開されている。

(3) 分科会

第1分科会（小学校部分）

① 研究主題

「学習意欲を高め確かな学力をつけるためにはどうしたらよいか。」

ア. 研究発表者

東白川郡古殿町立大久田小学校

教諭 鈴木 武夫

学習意欲を高めるために、予習課題にとりくませ、学習のレディネスを高めた。予習課題のとり上げ方、生かし方をくふうする。学習訓練をし、学習の仕方を身につけさせる。この三つの視点で、家庭における学習と学校における学習の組織化を図ることに努力した。

- ・児童にみられる変容

学習への意識、関心、自発的に立ちむかう学習態度、学習への参加態度や標準テストにあらわれた学力差も上がってきた事例をとおしての発表があり、その努力に参加者一感銘を深くした。

第2分科会（中学校部会）

① 研究発表者

岩瀬郡天栄村立湯本中学校

教諭 小林 豊司

教諭 武藤 信義

② 研究主題

「計算能力向上のための一考察」

数学の学習では図形の場合と異なり、生徒、時には教師側でも、その答えが正しければそれでよいとすることが多い。求積の問題を除いては図形の学習では最終の結論が正しくなければ意味がないし、したがって授業においても種々の説明を要求し、また各部分部分の証明が成立つ理由をかかせる指導が割合に充分行なわれている。

これに反して数量の学習の場合には数多くの練習問題を解かせることに力点をおいて、式の変形の意義とその書き方、またそれが成立つ理由、等号の使い方、説明の方法等の指導が多くの場合不十分である。これらの解決策として具体的な実践をふまえての貴重な発表があった。

第3分科会（複式学習指導）

① 研究主題

「複式学級における手びきを利用した国語科の指導について」

② 研究発表者

東白川郡埴町立笹原小学校木野反分校

教諭 吉田 タリ

手びきの内容として、単元ごとに、時限ごとに、一つの間接指導の場合ごとに考えて、一冊のプリントとしているが、だんだんと直接指導の場合や、家庭学習にも利用される面も取り入れられてきている。

何を学習するのか、その方法、累進的な設問、記入らん、漢字やことばの指導等の組合わせた配列により、抵抗が排除され、効果的な学習が進められるよう実践をとおしての発表であり、今後の複式学習指導に活用する面が多であった。

(2) 会津方部

① 期 日

10月7日（金）

② 会 場

耶麻郡猪苗代町立翁島小学校第一分校

③ 研究主題

「山村へき地の学校経営ならびに児童生徒の学習効果を高めるにはいかにすればよいか」。

教育効果を高めるために、特に家庭学習をよくさせるために、子どもたちに学習の場所をきめてやり、よい学習の雰囲気を作ることに、それに家庭学習の方法として、学習カードの利用等について話し合いがなされ、山村へき地における望ましい家庭学習の方向づけがなされた。

(3) 浜通り方部

① 期 日

10月24日（日）

② 会 場

相馬郡飯館村立小宮小学校

③ 研究主題

「山村へき地の児童生徒の学習意欲を高めるにはどうしたらよいか」

学習過程の見とおしとして、文章の類型に応じた学習の手順を子どもに持たせることによって、学習意欲を高め学習の効果を上げている発表があり一同感銘を深くした。

3 へき地教育研究学校

(1) 大沼郡金山町立沼沢小学校 校長 中山 和美

① 研究主題

へき地校における効率的な学習指導法のありかた、(算数科を主として)

② 研究の概要